

筑波山の鳥類

茨城動物研究会

はじめに

筑波山は標高870 mの男体山と876 mの女体山の双峰からなり通称男体山と女体山を結ぶ稜線より南側を表筑波、北側を裏筑波と称し、ブナが見られる山頂部を除けば、南斜面、北斜面にそれぞれ異なった植物分布が見られる。そこで筑波山を南斜面、北斜面、山頂部の3地区に分け鳥類がどのような生息分布をするか調べた。

調査地及び方法

調査は1995年と1996年の2か年、前記の3地区にそれぞれ調査コース(図1)を設定し、月1回のルートセンサスを実施し、原則とし認められる全ての種と数を出現地の標高と共に記録した。また、調査区域が筑波山塊一帯であることから、調査期間中に調査区域で確認したすべての種を月別に記録した。

調査コースとその特徴

1. 南面コース(A)

南面山麓沼田地区(旧関東鉄道筑波線筑波駅)より登山道を登り筑波神社-ケーブル宮脇駅-中の茶屋-男女の川-ケーブルカー山頂駅までとした。

スタート地点周辺は住宅地、標高60 m付近から登山道に入る。そこからはアカマツの植林地が旧筑波町の市街地まで続く(図2)。市街地の最上部に筑波山神社(標高300 m)があり、その境内から標高700 m地点付近まではモミーンキミ群集からなり、その上部にアカンデークマンデ群集さらにブナースズタケ群集へと続く。

2. 北面コース(B)

県道筑波益子線の真壁町の羽鳥地区をスタート地点とし筑波山ユースホテル跡(調査期間中に閉鎖された)を経て御幸が原までの北筑波登山道をこれに当てた。

スタート地点周辺は田畑の耕作地、標高70 m付近から150 mまでが点在する民家住宅地でそこを抜けるとアカマツの植林地とアカマツ-ヤマツツジ群集が標高450 m付近まで続く。ここから標高700 m付近まではスギーヒノキの植林地からなり、その上部にミ

ズナラークリ群集、ブナースズタケ群集と続く。

3. 北面補助コース(B')

真壁町の野営キャンプ場から女体山までを補助コースとし、主コースで確認出来なかった種を補助的に取り上げた。

このコースはキャンプ場(標高500 m)からコナラークリ群集とスギーヒノキの植林地の林界が標高600 mまで続きその上部にミズナラークリ群集、ブナースズタケ群集がある。

4. 山頂コース(C)

御幸が原から男体山頂までと男体山を取り巻く自然研究路及び女体山頂までとした。

このコースはブナースズタケ群集からなり、標高は最高876 m、最低750 mの標高差約100 mである。

調査結果

1. 確認種

各月毎の出現種別調査結果を付表1に、種の優先度及び出現率を付表2に示す。また、調査期間中のルートセンサス以外の調査区域の観察記録も含めた記録種16目36科118種を下記する。

カイツブリ目 PODICIPEDIFORMES

カイツブリ科 PODICIPEDIDAE

1. カイツブリ *Tachybaptus ruficollis*
2. カンムリカイツブリ *Podiceps cristatus*

ペリカン目 PELECANIFORMES

ウ科 PHALACROCORACIDAE

3. カワウ *Phalacrocorax carbo*

コウノトリ目 CICONIIFORMES

サギ科 ARDEIDAE

4. アオサギ *Ardea cinerea*
5. チュウサギ *Egretta intermedia*
6. アマサギ *Egretta ibis*
7. コサギ *Egretta garzetta*
8. ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*

タカ目 FALCONIFORMES

タカ科 ACCIPITRIDAE

9. ミサゴ *Pandion haliaetus*

10. ハチクマ *Pernis ptilorhynchus*

11. トビ *Milvus migrans*

12. ツミ *Accipiter gularis*

13. ハイタカ *Accipiter nisus*

14. オオタカ *Accipiter gentilis*

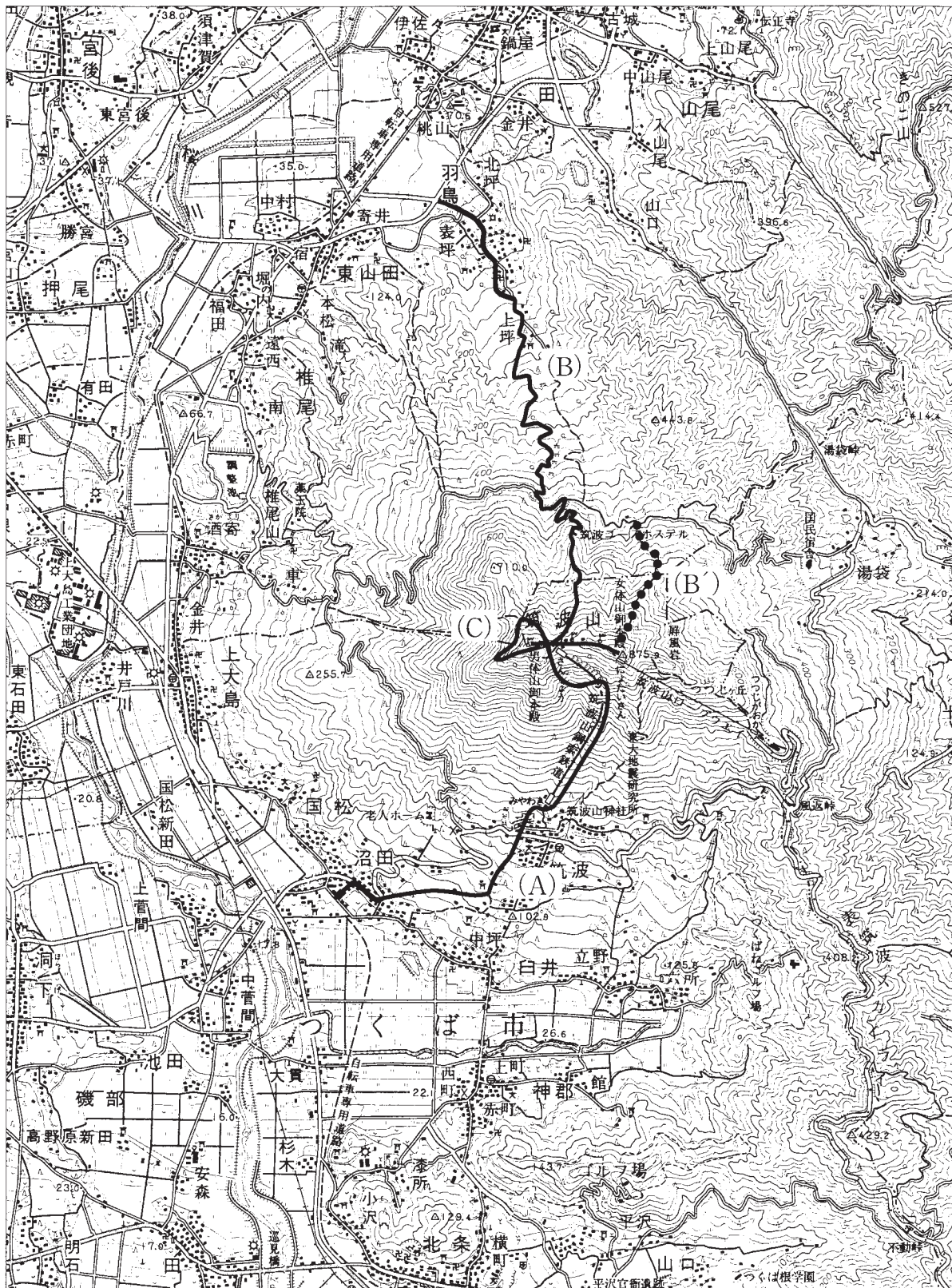


図1. 調査コース (国土地理院発行 1:50,000地形図「貞壁」を一部改変).

15. サシバ *Butastur indicus*
 16. ノスリ *Buteo buteo*

ハヤブサ科 FALCONIDAE

17. コチョウゲンボウ *Falco tinnunculus*
 18. チョウゲンボウ *Falco columbarius*

カモ目 ANSERIFORMES

カモ科 ANATIDAE

19. トモエガモ *Anas formosa*
 20. コガモ *Anas crecca*
 21. マガモ *Anas platyrhynchos*
 22. カルガモ *Anas poecilorhyncha*
 23. オナガガモ *Anas acuta*
 24. ハシビロガモ *Anas clypeata*
 25. ホシハジロ *Aythya ferina*
 26. キンクロハジロ *Aythya furigula*
 27. カワアイサ *Mergus merganser*

キジ目 GALLIFORMES

キジ科 PHASIANIDAE

28. コジュケイ *Bambusicola thoracica*
 29. ヤマドリ *Syrnaticus soemmerringi*
 30. キジ *Phasianus versicolor*

ツル目 GRUIFORMES

クイナ科 RALLIDAE

31. ヒクイナ *Porzana fusca*
 32. バン *Gallinula chloropus*
 33. オオバン *Fulica atra*

チドリ目 CHARADRIIFORMES

シギ科 SCOLOPACIDAE

34. ヤマンギ *Scolopax rusticola*

ハト目 COLUMBIFORMES

ハト科 COLUMBIDAE

35. キジバト *Streptopelia orientalis*

カッコウ目 CUCULIFORMES

カッコウ科 CUCULIDAE

36. ジュウイチ *Cuculus fugax*
 37. カッコウ *Cuculus canorus*
 38. ツツドリ *Cuculus saturatus*
 39. ホトトギス *Cuculus poliocephalus*

フクロウ目 STRIGIFORMES

フクロウ科 STRIGIDAE

40. アオバズク *Ninox scutulata*
 41. フクロウ *Strix uralensis*

ヨタカ目 CAPRIMULGIFORMES

ヨタカ科 CAPRIMULGIDAE

42. ヨタカ *Caprimulgus indicus*

アマツバメ目 APODIFORMES

アマツバメ科 APODIDAE

43. アマツバメ *Apus pacificus*

ブッポウソウ目 CORACIIFORMES

カワセミ科 ALCEDINIDAE

44. カワセミ *Alcedo atthis*

キツツキ目 PICIFORMES

キツツキ科 PICIDAE

45. コゲラ *Picoides kizuki*
 46. アカゲラ *Picoides major*
 47. アオゲラ *Picus awokera*

スズメ目 PASSERIFORMES



凡例

- 1: ブナースズタケ群集
- ▨ 2: アカシデアクマシダ群集
- ▩ 3: ミズナラークリ群集
- ▧ 4: モミシキミ群集
- ▦ 5: アカマツ林
- ▥ 6: スギヒノキ植林
- ▤ 7: クリーコナラ、クヌギコナラ群集
- ▣ 8: ススキ群落

図 2. 筑波山の植生 (学園都市の自然と親しむ会 (編), 1992より引用).

ヒバリ科 ALAUDIDAE

48. ヒバリ *Alauda arvensis*

ツバメ科 HIRUNDINIDAE

49. ツバメ *Hirundo rustica*

50. コシアカツバメ *Hirundo daurica*

51. イワツバメ *Delichon dasypus*

セキレイ科 MOTACILLIDAE

52. キセキレイ *Motacilla cinerea*

53. ハクセキレイ *Motacilla alba*

54. セグロセキレイ *Motacilla grandis*

55. ビンズイ *Anthus hodgsoni*

56. タヒバリ *Anthus spinoletta*

サンショウクイ科 CAMPEPHAGIDAE

57. サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus*

ヒヨドリ科 PYCNONOTIDAE

58. ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*

モズ科 LANIDAE

59. モズ *Lanius bucephalus*

レンジャク科 BOMBYCILLIDAE

60. キレンジャク *Bombycilla garrulus*

61. ヒレンジャク *Bombycilla japonica*

カワガラス科 CINCLIDAE

62. カワガラス *Cinclus pallasi*

ミソサザイ科 TROGLODYTIDAE

63. ミソサザイ *Troglodytes troglodytes*

イワヒバリ科 PRUNELLIDAE

64. イワヒバリ *Prunella collaris*

65. カヤクグリ *Prunella rubida*

ヒタキ科 MUSCICAPIDAE

ツグミ亜科 TURDINAE

66. コマドリ *Erithacus akahige*

67. コルリ *Erithacus cyane*

68. ルリビタキ *Erithacus cyanurus*

69. ジョウビタキ *Phoenicurus aureoreus*

70. マミジロ *Zoothera sibirica*

71. トラツグミ *Zoothera dauma*

72. クロツグミ *Turdus cardis*

73. アカハラ *Turdus chrysolaus*

74. シロハラ *Turdus pallidus*

75. ツグミ *Turdus naumanni*

ウグイス亜科 SYLVIINAE

76. ヤブサメ *Cettia squameiceps*

77. ウグイス *Cettia diphone*

78. メボソムシクイ *Phylloscopus borealis*

79. エゾムシクイ *Phylloscopus tenellipes*

80. センダイムシクイ *Phylloscopus coronatus*

81. キクイタダキ *Regulus rugulus*

ヒタキ亜科 MUSCICAPINAE

82. キビタキ *Ficedula narcissina*

83. オオルリ *Cyanoptila cyanomelana*

84. サメビタキ *Muscicapa sibirica*

85. エゾビタキ *Muscicapa griseisticta*

86. コサメビタキ *Muscicapa latirostris*

カササギヒタキ亜科 MONARCHINAE

87. サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata*

エナガ科 AEGITHALIDAE

88. エナガ *Aegithalos caudatus*

シジュウカラ科 PARIDAE

89. コガラ *Parus montanus*

90. ヒガラ *Parus ater*

91. シジュウカラ *Parus major*

92. ヤマガラ *Parus varius*

ゴジュウカラ科 SITTIDAE

93. ゴジュウカラ *Sitta europaea*

メジロ科 ZOSTEROPIDAE

94. メジロ *Zosterops japonicus*

ホオジロ科 EMBERIZIDAE

95. ホオジロ *Emberiza cioides*

96. カシラダカ *Emberiza rustica*

97. ミヤマホオジロ *Emberiza elegans*

98. アオジ *Emberiza spodocephala*

99. クロジ *Emberiza variabilis*

100. オオジュリン *Emberiza schoeniclus*

アトリ科 FRINGILLIDAE

101. アトリ *Fringilla montifringilla*

102. カワラヒワ *Carduelis sinica*

103. マヒワ *Carduelis spinus*

104. ベニヒワ *Acanthis flammea*

105. ハギマシコ *Leucosticte arctoa*

106. ベニマシコ *Uragus sibiricus*

107. オオマシコ *Carpodacus roseus*

108. ウソ *Pyrrhula pyrrhula*

109. シメ *Coccothraustes coccothraustes*

110. イカル *Coccothraustes personatus*

ハタオリドリ科 PLOCEIDAE

111. スズメ *Passer montanus*

ムクドリ科 STURNIDAE

112. ムクドリ *Sturnus cineraceus*

カラス科 CORVIDAE

113. カケス *Garrulus glandarius*

114. オナガ *Cyanopica cyana*

115. ホシガラス *Nucifraga caryocatactes*

116. ハシボソガラス *Corvus corne*

117. ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos*

ヒタキ科 MUSCICAPIDAE

チメドリ亜科 TIMALIINAE

118. ソウシチョウ *Leiothrix lutea*

以上の調査結果から過去に記録があり、今回記録されなかった種としてミゾゴイ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、アオバト、オオコノハズク、トラフズク、ハリオアマツバメ、アカジョウビン、オオアカゲラ、アカモズ、イソヒヨドリ、マミチャジナイ、ムギマキ、イスカ、コムクドリの15種が上げられる。

また、今回新たに記録された種としてカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、アマサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホンハジロ、キンクロハジロ、カワアイサ、ヒクイナ、バン、オオバン、ヤマシギ、オオジュリン、ホシガラスの23種が上げられる。

これらの新たな記録種の殆どは1991年に真壁町に

作られた農業用水の人造湖（つくし湖）で観察されたものであるが、特筆できるものとして1996年の9月から1997年4月11日まで筑波山頂付近で観察されたホシガラスがあり筑波山初記録となった。

2. 垂直分布

繁殖期（5, 6, 7月）と非繁殖期（12, 1, 2月）をまとめた垂直分布を南面、北面ごとに図3, 4, 5, 6に示す。

考察

1. ルートセンサスによる確認種から

(1) 総論

この結果から筑波山全体の第1優先種はソウシチョウであることが分かる。しかし出現率を見ると南面では通年見られるものの、北面と山頂部では非繁殖期の一時期に生息が確認できず、本種は繁殖期に筑波山に集中してくることが分かる。

第2優先種はスズメであるが本種は南面調査コースに旧筑波町の市街地が入り観察数のほとんどが市街地部と筑波山ケーブルカーの山頂駅周辺に限られている。また、北斜面の筑波山ユースホステルにも少数が観察されたが、調査期間中に建物の取り壊しが行われその後見られなくなった。従って数的には多いものに限られた所に集中している。

第3優先種はヒヨドリで全山にくまなく見られ飛翔能力等を考えれば本種が最優先種といえる。

以下シジュウカラ、エナガと続く。

(2) 南斜面

南面だけの記録種としてハイタカ、サンバ、カッコウ、サンコウチョウ、オナガの5種がある。しかしこれらの5種は調査区域内での記録があることから調査回数不足から南面だけの記録となったものと考えられる。

(3) 北斜面

北面だけで記録されたものはハチクマ、コマドリ、キクイタダキ、サメビタキ、ベニヒワ、オオマシコの6種がある。

ハチクマは筑波山系が北に連続しておりしかも足尾山、加波山などの筑波山塊としては自然度の高い山並みが南面より連続するため生息するものと考えられ、調査期間中に加波山系で繁殖が確認された。コマドリは繁殖期に標高650 m以上の北面で見られたが繁殖の成否は不明である。キクイタダキは漂鳥として冬期に筑波山を訪れるが年により数にばらつきがあり、今

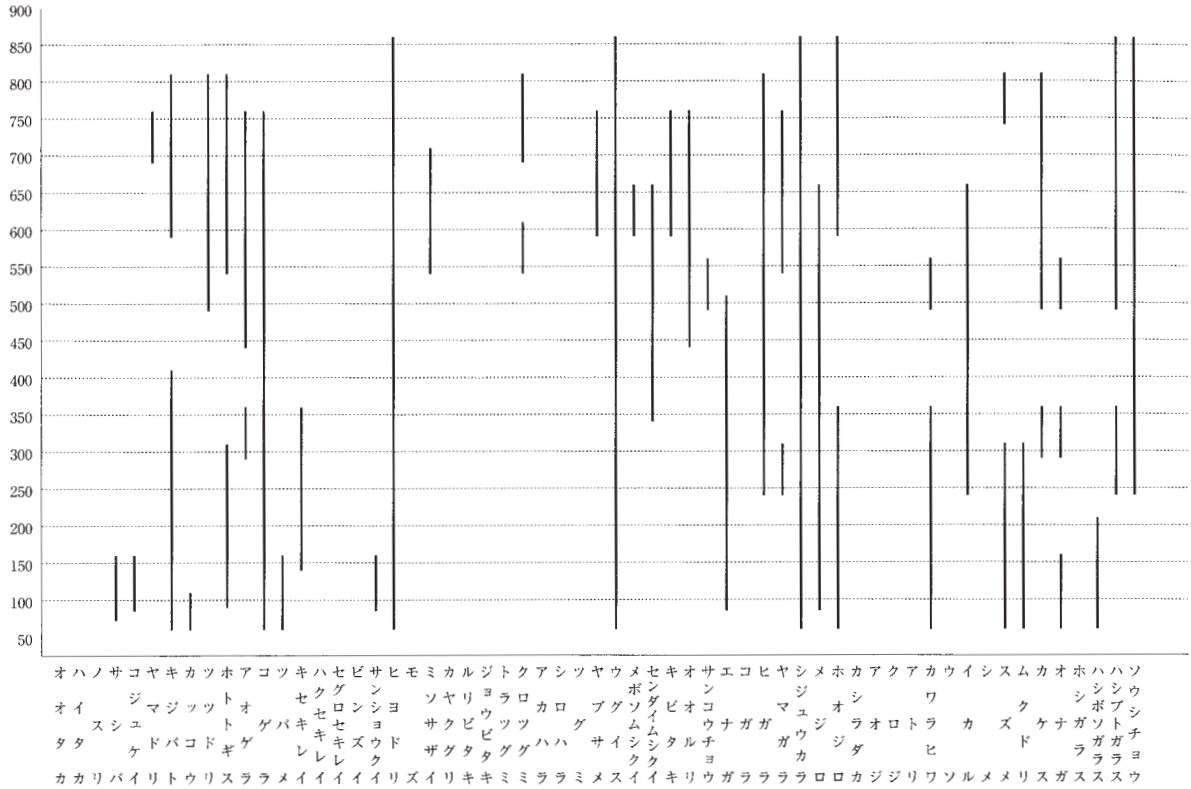


図3. 繁殖期における垂直分布図(5, 6, 7月)南面から山頂.

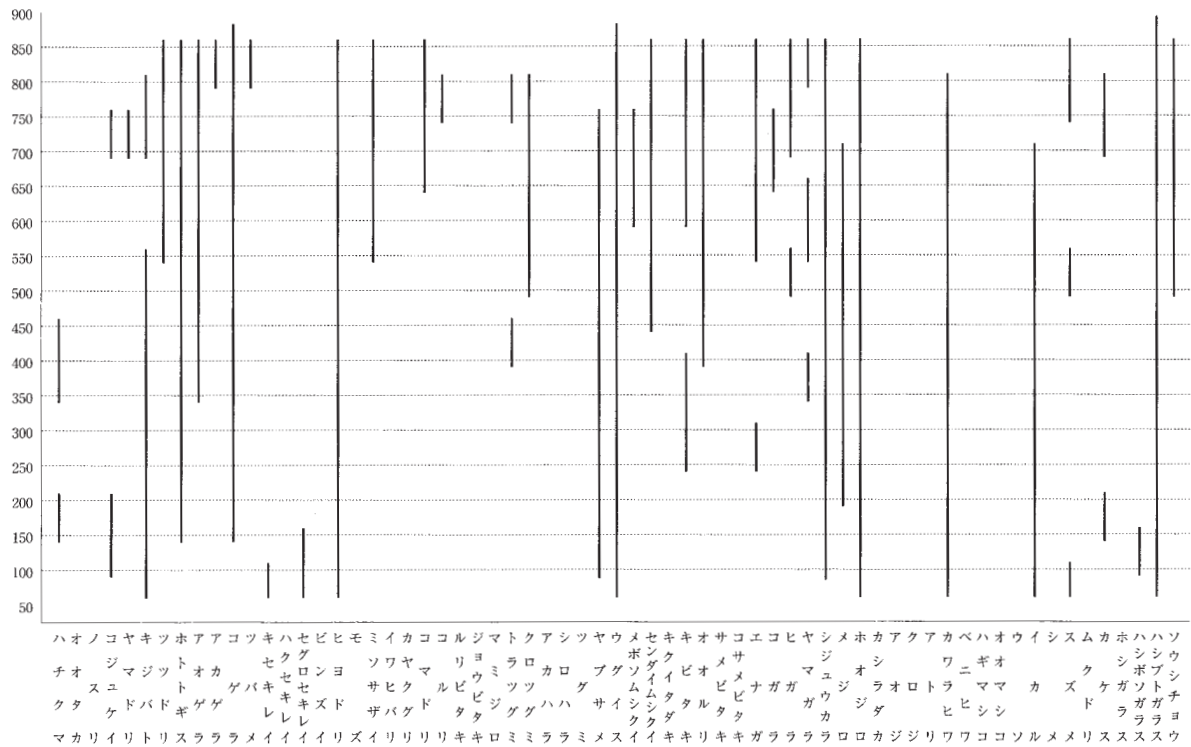


図4. 繁殖期における垂直分布図(5, 6, 7月)北面から山頂.

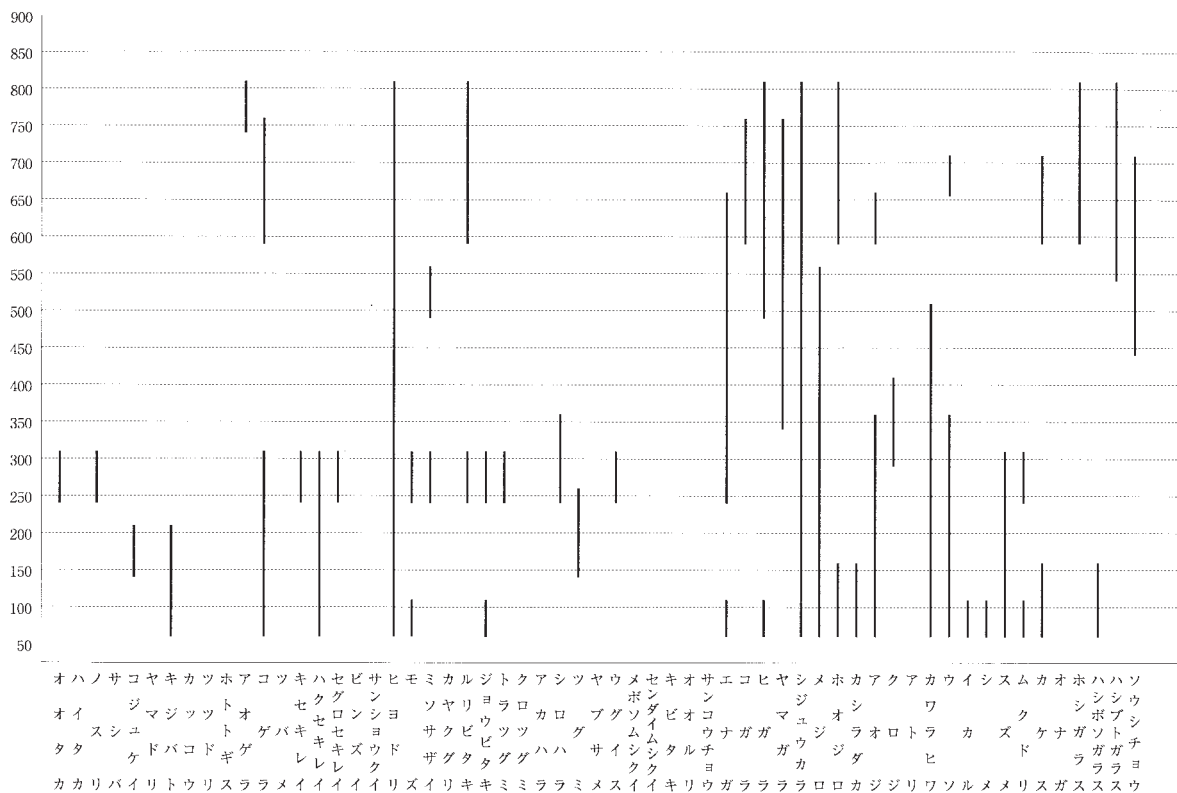


図5. 非繁殖期における垂直分布図(12, 1, 2月)南面から山頂.

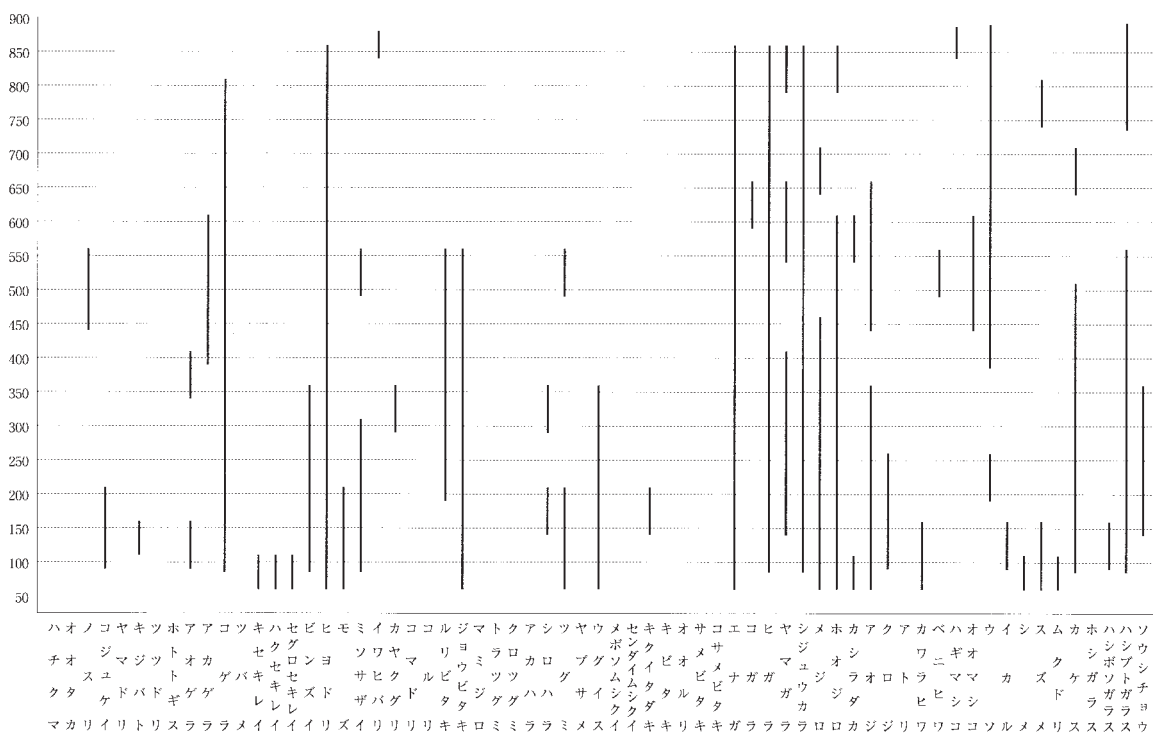


図6. 非繁殖期における垂直分布図(12, 1, 2月)北面から山頂.

回は北面のみの記録となったが調査区域内での記録もあることから、主に本種が好む南北両面の針葉樹林帯で越冬するものと思われる。サメビタキは秋期の渡り時の9月に記録されたもので渡りの途中一時的に北面を利用したものと考えられる。ベニヒワとオオマシコは1996年に標高500 m付近のユースホテル跡地と真壁町の野営キャンプ場敷地で確認された。本2種が気温の逆転層より上部で越冬したのは餌とする植物の種子が両地域に多くあることによる。

(4) 山頂部

イワヒバリ、マミジロ、コサメビタキ、ハギマシコの4種が観察された。

イワヒバリは毎年少数が越冬のために飛来する。マミジロ、コサメビタキは繁殖期には確認できていないことから渡りの途中観察されたもので山頂部が渡り鳥にとって重要な意味を持つことが分かる。ハギマシコは1996年の12月に山頂部の電波塔の敷地内で植物の種子を食べているところが観察されたもので、餌が不足すると山頂部から離れるものと考えられる。

2. 垂直分布から

(1) 総論

南面において標高350 m付近から標高600 m付近にかけてキジバト、ヤマガラ、ホオジロ、コゲラ等の比較的普通種が確認できないが、これはモミーシキミ群集において種類数が少なくなることを示唆している。

北面においてもキビタキ、エナガ、ヤマガラ等の数種に標高400 m付近から600 m付近で連続する垂直分布の絶たれる所がある。これはスギーヒノキの植林地が存在する為と考えられる。

このように筑波山では針葉樹林帯に種類数の減少が見られるもののサンコウチョウやヒガラ等の比較的針葉樹林帯を好む種がそこを利用している。

(2) 南北面の比較(夏鳥)

多くの夏鳥が南北両面の標高500 m付近より上部で観察されているが、ヤブサメが北面で標高100 m付近から、またキビタキが標高250 m付近から400 m付近でも観察された。これは北面に手入れが届かない松林にヤブサメの好む灌木林が広く北面に存在することと、アカマツ-ヤマツツジ群集にキビタキが好む落葉広葉樹が点在する為と思われる。

(3) 南北面の比較(冬鳥)

ビンズイが北面の標高350 m付近までに観察されているのは本種が好む松林が北面に多く残っているこ

とによる。またルリビタキ、ジョウビタキの2種が南面では標高300 m付近、北面で標高550 mの中腹部までと垂直分布に異なりを見せているのも南北両面の植生の違いに関連しているものと考えられる。

1996年に筑波山初記録となったホンガラスは10月には南面で標高750 m、北面で標高550 mから標高650 mと山頂部の3地区にそれぞれ確認できたが、12月になると南面の標高600 m付近だけの記録となる。これは餌としていたブナの種子を食べつくしたことから、筑波山の南北面の温度差によるものと考えられる。

(4) 南北面の比較(留鳥)

非繁殖期におけるハクセキレイが南面では標高300 mまで連続観察され、北面では標高100 mまでの記録となっている。これは人間生活に依存している本種の生態の一面をよく表している。非繁殖期における南北面の垂直分布に顕著な違いを見せているのはハンプトガラスとソウシチョウでこれは気温の逆転層に関係なくホンガラス同様、南面が北面に比べ気温が高いためと考えられる。またソウシチョウは繁殖期には南面で標高250 m付近から山頂まで、北面で標高450 m付近から山頂まで記録されている。本種はスズタケを利用し高密度で繁殖しているが、スズタケ以外にも営巣しているところを目撃しており、繁殖地を南面に広げている可能性もある。

コガラは補助コースの600 m~750 mのミズナラ-クワ群集で幼鳥連れの群れを確認したことから僅かながら本種が筑波山で繁殖していることが確認された。

まとめ

調査期間中に記録された種類は16目36科118種となった。

今回の調査結果から筑波山の繁殖期における南北面での著しい違いは見られないものの、南面のモミーシキミ群集と北面のアカマツ林、スギーヒノキ植林の植生の違いに生息分布の異なりを見せた。冬期の垂直分布において、南面の高所が北面の高所に比べ優位に利用されていることが分かるが、これらが筑波山に見られる気温の逆転層の上部で起こっていることから日照時間の違いによる南北面の温度差によるものと考えられる。この事実は降雪後の残雪量に顕著に現れる。

参考文献

山階芳麿. 1986. 世界鳥類和名辞典. 1140 pp. 大学書林, 東京.

- 芳賀和夫. 1988. 筑波山の動物. 日本の生物, (18): 35-36. 調査者及び執筆者
- 石井省三* (大和村役場, 森林インストラクター)
- 学園都市の自然と親しむ会 (編). 1992. 筑波山 つ 望月和男 (日本鳥類保護連盟専門委員)
- くばの自然誌 I. 150 pp., STEP, 茨城. (*印は執筆者を示す)

動 物

付表1. ルートセンサス調査結果(1).

種 名	年度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月									
		南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂					
ハチクマ	95 96	※					1		1	1											※	※	※										
オオタカ	95 96	※																1			※	※	※		1								
ハイタカ	95 96	※																			※	※	※	1									
ノスリ	95 96	※												1				1		1	※	※	※	1	1	1							
サシバ	95 96	※		2		1															※	※	※										
コジュケイ	95 96	※			1				1	2	1				3	1			1	1		※	※	※	6	2							
ヤマドリ	95 96	※				1																※	※	※									
キジバト	95 96	※	1	7	6	10	5	2	6	4	4	5	6	2	3		2	3	1	5	※	※	※	4	2								
カッコウ	95 96	※				1																※	※	※									
ツツドリ	95 96	※	1	4	1	1	3	1	2		1											※	※	※									
ホトトギス	95 96	※		4	2	2	4	2	5	1	2		2									※	※	※									
アオゲラ	95 96	※	1	5	1	1	4	2	1	1	1	1	1	1	2			1			※	※	※	1	1								
アカゲラ	95 96	※					1	1					2									※	※	※									
コゲラ	95 96	※	2	1	2	2	1	5	1	3	3	2	2	1	5	2		4	1	2	1	1	2	4	1	※	3	※	※	2	4	3	
ツバメ	95 96	※		2	2	2	6		8													※	※	※									
キセキレイ	95 96	※		3	1	4	1		2	4		1			1			1			※	※	※	4									
ハクセキレイ	95 96	※						1					1		2		1		2		※	※	※										
セグロセキレイ	95 96	※						2				1		1		1		1		1	※	※	※	2									
ビンズイ	95 96	※														2				10	※	※	※	2	1								
サンショウクイ	95 96	※		1				1													※	※	※										
ヒヨドリ	95 96	※	1	14	25	3	11	3	6	6	21	2	9	2	7		14	21	3	14	7	12	23	3	48	6	※	11	※	※	37	2	2
モズ	95 96	※						1					2		3	1	3		1		※	1	※	※									
ミソサザイ	95 96	※	1	2		2		1	1	1	1		1		2		2		2	1	2	※	※	※	1								
イワヒバリ	95 96	※		2														1			※	※	※										
カヤクグリ	95 96	※																			※	1	※	※	1								
コマドリ	95 96	※			1		1		1												※	※	※										

(続く)

(付表1. 続き)

種名	年度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月									
		南	北	南	北	南	北	南	北	南	北	南	北	南	北	南	北	南	北	南	北	南	北	南	北	南	北						
コルリ	95 96	※			1	1	1														※	※	※										
ルリビタキ	95 96	※														1	2	2	2	3	1	2	※	1	※	※	1						
ジョウビタキ	95 96	※													2	1	1	2	3	1	1	1	1	※	1	※	※						
マミジロ	95 96	※											11		1							※	※	※									
トラツグミ	95 96	※	2						2							1		1		1		※	3	※	※								
クロツグミ	95 96	※	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	5									※	※	※									
アカハラ	95 96	※														1	2					※	1	※	※								
シロハラ	95 96	※	2														3	2		1	1	※	2	※	※								
ツグミ	95 96	※															1	4	6	1	5	※	3	※	※	2							
ヤブサメ	95 96	※	2	5	3	2	2	1	2	2	3	1	2	1			1						※	※	※								
ウグイス	95 96	※	3	2	10	12	4	12	5	4	5	10	4	4	1	3	2	1	1	2	2	2	2	※	2	※	※	9	2				
メボソムシクイ	95 96	※		1	1	1																※	※	※									
センダイムシクイ	95 96	※	2	1		1	1	1	2					1								※	※	※									
ククイタダキ	95 96	※																1				※	※	※									
キビタキ	95 96	※	1	2	1	1	1	1			1	2	1			2						※	※	※									
オオルリ	95 96	※	2	3	1	2				1	1											※	※	※									
サメビタキ	95 96	※											1									※	※	※									
コサメビタキ	95 96	※											1									※	※	※									
サンコウチョウ	95 96	※				1																※	※	※									
エナガ	95 96	※	1		26	12			20	12	10		16	12	2	4	20	10	6	32	6	6	※	4	※	※	4						
コガラ	95 96	※					1				10					1			2		2	※	1	※	※	2							
ヒガラ	95 96	※	3	1	12	1	8	1	1	6	5		11	4	1	3		4		6	6	※	4	※	※	4	1						
ヤマガラ	95 96	※	1	3	1	1	1	1	2	1	2	2	2	1	6	3		2		1	1	※	※	※	※	2							
シジュウカラ	95 96	※	13	3	12	6	4	7	2	6	5	6	4	12	14	16	10	8	27	2	12	2	11	15	16	5	※	8	※	※	6	3	
メジロ	95 96	※	16	4	4	8	1	4	3	5	1	4	1	3	1		40	11	8	1	10	15	10	15	10	2	3	※	5	※	※	4	3
ホオジロ	95 96	※	3	13	4	7	1	7	2	7	6	2	8	6	1	6	6	10	5	7	8	3	5	4	※	3	※	※	8	7			

(続く)

動物

(付表1. 続き)

種名	年度	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂	南	北	頂			
カシラダカ	95 96	※																2			4	45	50	3	30	4	18	※	4	※	※	7					
アオジ	95 96	※																7			4	2	3	11	8	6	※	2	※	※	5	4					
クロジ	95 96	※																					1	1		1	※	※	※			1					
アトリ	95 96	※																				2					※	※	※								
カワラヒワ	95 96	※		6	6	3	4	12	4	10	9	3	6	9	62	8	2	9	3	2	※	8	※	※	20	3	※	8	※	※	20	3					
ベニヒワ	95 96	※																			※	※	※				※	※	※								
ハギマシコ	95 96	※																						3			※	※	※								
オオマシコ	95 96	※																						2			※	※	※								
ウソ	95 96	※																			4	1	20	1	7	5	※	※	※			1					
イカル	95 96	※		9	1	3	1	2	4	1	2	1	1	2				2									※	※	※	1	2						
シメ	95 96	※																			1	1	1	2	1	2	※	※	※								
スズメ	95 96	※	7	42	6	12	30	2	10	27	12	29	4	2	26	35	13	5	8	24	18	3	11	13	6	5	41	4	※	19	※	※	27	3			
ムクドリ	95 96	※		5		6					11	6	7	6	4					5		7	4	13	3	5	※	1	※	※			4				
カケス	95 96	※		2		3		2	1	1	1	1	1	3	2	1	5	7	2	3	1		1	2	5	2	※	※	※			6	1				
オナガ	95 96	※		4		4																					※	※	※								
ホシガラス	95 96	※														2	2	10					2				※	※	※								
ハシボソガラス	95 96	※		4		1		4		2	2	2		4	2	4	2	2		2		2	2	2	7	2	※	2	※	※	3						
ハイブトガラス	95 96	※	14	3	2	12	10	6	8	7	5	15	4	4	5	1	4	1	2	8		3	1	4	1	2	6	※	2	※	※	5	3				
ソウシチョウ	95 96	※	47	10	5	60	8	2	30	30	12	15	20	2	20	30	3	56	3	5	40	5	4		4	30	3	※	2	※	※	4					

※は未調査

付表2. 優先度・出現率.

種名	年度	優先度			出現率			種名	年度	優先度			出現率		
		南面	北面	山頂	南面	北面	山頂			南面	北面	山頂	南面	北面	山頂
ハチクマ	95 96		0.2 0.1				18.2 8.3			3.6 3.4	3.0 3.5	3.7 6.2	100.0 83.3	90.9 91.7	50.0 58.3
オオタカ	95 96	0.1	0.1		9.1	9.1		レボソムシクイ	95 96	0.1 0.1	0.1	0.2	9.1 8.3	8.3	8.3
ハイタカ	95 96	0.1			9.1			センダイムシクイ	95 96	0.2 0.2	0.2	0.7 0.8	18.2 16.7	18.2 25.0	30.0 25.0
ノスリ	95 96	0.1	0.3 0.1		9.1	36.4 8.3		キクイタダキ	95 96		0.1				8.3
サシバ	95 96	0.2 0.1			18.2 16.7			キビタキ	95 96	0.2 0.3	0.2 0.3	0.7 0.7	18.2 25.0	18.2 25.0	20.0 25.0
コジュケイ	95 96	0.9 1.0	0.5 0.4	0.2	36.4 50.0	45.5 41.7	8.3	オオルリ	95 96	0.4 0.3	0.2 0.1	0.3	18.2 25.0	9.1 8.3	16.7
ヤマドリ	95 96	0.1		0.2	9.1		8.3	サメビタキ	95 96		0.1			9.1	
キジバト	95 96	3.5 1.8	2.0 2.1	0.4 0.5	90.9 91.7	72.7 83.3	10.0 16.7	コサメボタキ	95 96			0.2			8.3
カッコウ	95 96	0.1			9.1			サンコウチョウ	95 96		0.1		8.33		
ツツドリ	95 96	0.5 0.6	0.2 0.2	0.9 0.5	18.2 25.0	27.3 16.7	30.0 16.7	エナガ	95 96	1.0 7.4	10.1 11.4	10.0 6.5	27.3 83.0	81.8 100.0	40.0 41.7
ホトトギス	95 96	0.6 0.5	0.4 0.6	2.4 0.7	18.2 33.3	27.3 25.0	40.0 16.7	コガラ	95 96	0.2 0.2	0.7	0.5	18.2 16.7	25.0	25.0
アオゲラ	95 96	1.1 0.8	0.4 0.5	0.7 0.7	72.2 75.0	45.5 58.3	30.0 25.0	ヒガラ	95 96	4.8 5.5	0.4 6.7	0.9 1.3	100.0 100.0	27.3 58.3	40.0 33.3
アカゲラ	95 96		0.1 0.2	0.7 0.3	9.1 25.0	20.0 16.7		ヤマガラ	95 96	1.6 4.2	0.5 1.2	0.9 6.5	81.8 100.0	45.5 83.3	30.0 58.3
コゲラ	95 96	2.1 1.7	1.5 2.1	1.3 2.8	90.9 75.0	81.8 91.7	60.0 66.7	シジュウカラ	95 96	7.0 8.6	8.0 8.4	6.8 7.9	100.0 100.0	100.0 100.0	60.0 83.3
ツバメ	95 96	0.3 1.3	1.2 0.1	0.8	18.2 33.3	27.3 8.3	8.3	メジロ	95 96	4.2 5.3	6.5 8.0	3.7 0.7	100.0 100.0	81.8 100.0	40.0 8.3
キセキレイ	95 96	0.9 1.4	0.6 0.2		45.5 75.0	45.5 16.7		ホオジロ	95 96	4.2 2.7	4.0 7.4	0.4 1.6	100.0 75.0	81.8 100.0	20.0 58.3
ハクセキレイ	95 96	0.5 0.6	0.1		45.5 33.3	8.3		カシラダカ	95 96	1.7 0.8	4.8 0.6	17.4 0.2	54.5 25.0	18.2 25.0	20.0 8.3
セグロセキレイ	95 96	0.4 0.3	0.2 0.1		45.5 33.3	9.1 16.7		アオジ	95 96	2.1 1.8	1.3 2.2		54.5 50.0	27.3 50.0	
ビンズイ	95 96	0.3	0.8 0.6		18.2	18.2 33.3		クロジ	95 96	0.1 0.1	0.2		9.1 16.7	18.2	
サンショウクイ	95 96	0.1			18.2			アトリ	95 96	0.1			9.1		8.3
ヒヨドリ	95 96	13.0 9.1	8.2 10.6	4.6 2.3	100.0 100.0	81.8 100.0	70.0 58.3	カワラヒワ	95 96	6.0 4.6	7.0 3.9	2.6 0.7	100.0 100.0	72.7 100.0	10.0 25.0
モズ	95 96	0.8 0.6	0.1 0.3	0.3	54.5 50.0	9.1 25.0	8.3	ベニヒワ	95 96		0.1			8.3	
ミソサザイ	95 96	1.1 0.6	0.2 0.4	0.3	81.8 50.0	27.3 50.0	16.7	ハギマシコ	95 96			0.5			8.3
イワヒバリ	95 96			0.5			16.7	オオマシコ	95 96		0.4			25.0	
カヤクグリ	95 96	0.1	0.1		9.1	9.1		ウソ	95 96	1.0	1.8 1.0	1.1	33.3	18.2 33.3	20.0 16.7
コマドリ	95 96		0.2			25.0		イカル	95 96	1.3 0.6	0.4 0.7	0.7	45.5 50.0	36.4 41.7	20.0
コルリ	95 96		0.2	0.2		18.2	10.0	シメ	95 96	0.2 0.2	0.2		27.3 25.0	16.7	
ルリビタキ	95 96	0.4 0.1	0.2 0.3		45.5 8.3	9.1 25.0		スズメ	95 96	22.1 17.5	2.0 3.1	7.8 11.3	100.0 100.0	54.5 100.0	40.0 66.7
ジョウビタキ	95 96	0.2 0.5	0.2 0.4		27.3 41.7	18.2 41.7		ムクドリ	95 96	3.1 3.8	0.8 0.7		72.2 91.7	18.2 8.3	
マミジロ	95 96			2.0			16.7	カケス	95 96	1.7 1.3	1.4 1.4	1.1 1.3	72.2 66.7	54.5 75.0	40.0 41.7
トラクツグミ	95 96	0.4	0.2 0.1	0.2	54.5	9.1 8.3	8.3	オナガ	95 96	0.3 0.6			9.1 25.0		
クロツグミ	95 96	0.1 0.2	0.2 0.6	0.4 0.7	18.2 33.3	9.1 33.3	20.0 25.0	ホシガラス	95 96	0.2	0.1	1.6	16.7	8.3	8.3
アカハラ	95 96	0.1 0.1	0.1		9.1 8.3	8.3		ハシボソガラス	95 96	2.3 3.2	0.3 1.0	0.8	100.0 100.0	18.2 75.0	8.3
シロハラ	95 96	0.1 0.3	0.4		9.1 25.0	33.3		ハシブトガラス	95 96	2.5 3.2	5.7 5.2	6.5 3.6	90.9 100.0	100.0 100.0	60.0 83.3
ツグミ	95 96	0.4 0.5	0.1		18.2 33.3	18.2		ソウシチョウ	95 96	3.9 22.0	22.5 10.5	23.1 28.5	100.0 100.0	72.7 66.7	70.0 58.3
ヤブサメ	95 96	0.5 0.2	0.8 0.5	1.1 0.3	18.2 25.0	45.5 33.3	30.0 16.7								

優先度 = 種個体数 / 全種総個体数 出現率 = 目撃月数 / 調査月数